

～ 震災の影響大きく事業業況大幅悪化 ～

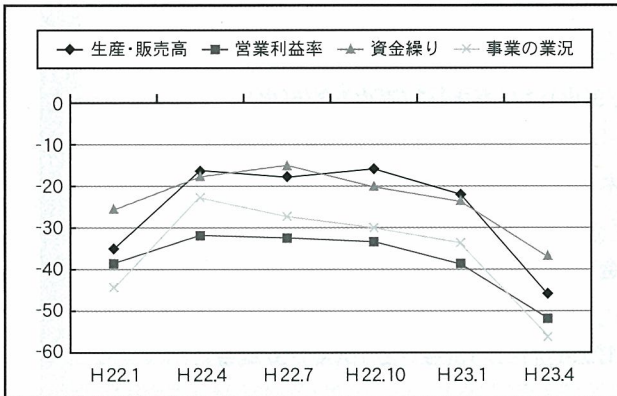
【全産業D I 値】(表1・表2)

山形県全体のD I 値(※)の前年同月比推移をみると、前回調査(H23.1)と比べ大幅な下落傾向となった。3月の東北地方太平洋沖地震による甚大な被害が影響している。

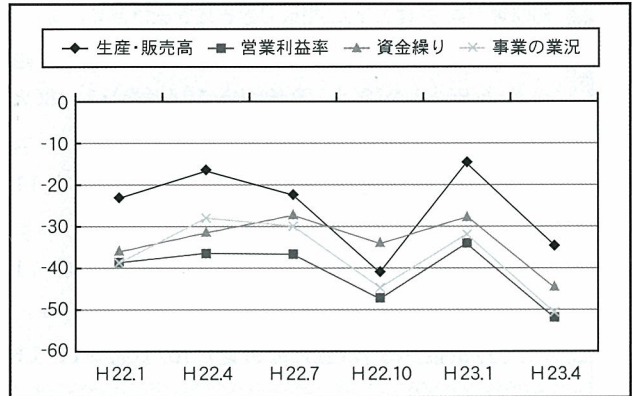
生産・販売高(H23.1調査▲21.4→今回調査▲45.0)、営業利益率(▲39.3→▲51.3)、資金繰り(▲22.5→▲36.3)、事業業況(▲34.3→▲55.8)と、全項目で12ポイントから23ポイントほどの悪化傾向を示している。

3ヶ月先見通しD I 値(表2)についても前年同月比推移と同様に下落傾向にあり、各項目とも20ポイント程度の悪化傾向を示している。生産活動の停止や個人消費の冷え込みにより経済活動の後退を余儀なくされている。また、震災後、売上や受注の減少、売掛金回収の遅延等により体力を奪われ、資金繰りが悪化する中小企業も出てくること懸念される。(H23.1調査生産・販売高▲14.5→今回調査▲35.1)、(営業利益率▲33.4→▲51.8)、(資金繰り▲27.5→▲44.9)、(事業の業況▲31.5→▲50.4)

【表1 - 県計前年同月比DI値の推移】



【表2 - 3ヶ月先見通しDI値の推移】

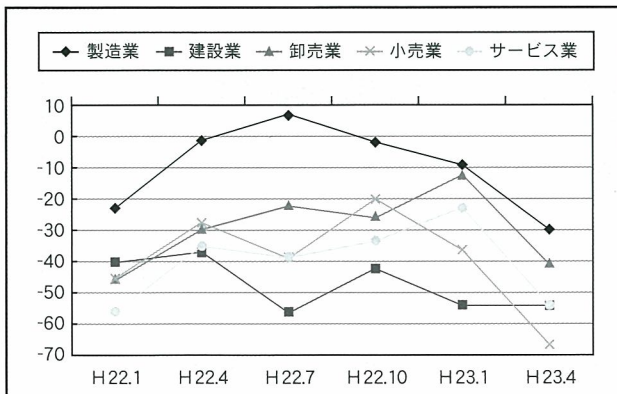


【産業別D I 値】(表3・表4)

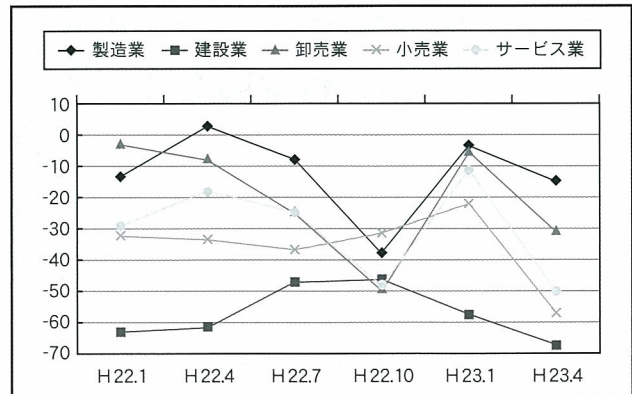
生産・販売高の前年同月比D I 値を業種別の推移でみると、建設業を除き全体として大幅下落結果となった。本県基幹産業である製造業はH22.7調査以降漸減傾向にあり、小売業・サービス業は前回調査(H23.1)より30ポイントの悪化となり、震災の影響はあらゆる分野に影響していると思われる。(製造業:H23.1調査▲9.3→今回調査▲30.1、卸売業:▲12.8→▲41.0、建設業▲54.0→▲54.0)、小売業▲36.3→▲67.1、サービス業▲22.3→▲54.8)

3ヶ月見通しD I 値については、前回調査で回復傾向にあった製造業・小売業・卸売業・サービス業を含め、全業種において下落傾向を示す結果となった。(製造業▲3.1→▲15.7)、(小売業▲22.7→▲56.3)、(卸売業▲5.2→▲30.8)、(サービス業▲11.1→▲50.0)、(建設業▲58.0→▲67.9)

【表3 - 業種別生産・販売高前年比DI値の推移】



【表4 - 業種別生産・販売高3ヶ月先見通しDI値の推移】



(※1) D I 値:「増加」とした企業の割合から「減少」とした割合を差し引いた指数